



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

北海道支部

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

赤十字ほっかいどう

contents

特集	News&Topics	5	わが町の赤十字奉仕団	7	
温故備震	2~4	令和4年度活動資金使途報告	6	表彰者名簿	7
			information	8	

特集

関東大震災100年

おん こ び しん
温故備震

ふる たず
～故きを温ね明日に備える～



関東大震災100年 おん 温 故 備 震

ふる たず
～故きを温ね明日に備える～

—過去の災害の教訓を活かして—

本年は、1923年(大正12年)に発生し10万人を超える犠牲者を出した関東大震災から100年の節目の年であり、道内においても、1993年(平成5年)7月に発生し、奥尻島を中心に大変大きな被害を受けた北海道南西沖地震から30年、そして、記憶に新しい2018年(平成30年)9月の胆振東部地震から5年という節目になっています。

私たちの住む日本は『災害大国』とも言われるように、昔から数多くの災害に見舞われてきました。そこから、多くの教訓を得てきましたが、時間の経過とともに、日常生活を送る中で被災の記憶と教訓は薄れがちです。

将来、高確率で発生すると予測される南海トラフ地震や千島海溝・日本海溝沖地震などの大規模災害からの被害を最小限に抑えるためにも、過去の災害から得た教訓をふりかえり、いまいちど災害への備えを見直してみてもはいかがでしょうか。

【関東大震災】

1923(大正12)年9月1日 午前11時58分に発生 マグニチュード7.9(推定)

近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震であり、南関東から東海地域に及ぶ広範な地域に甚大な被害が発生しました。

<災害被害>

死者・行方不明者	約10万5,000人 (内訳)火災 約92,000人 建物倒壊 約11,000人 津波・土砂崩れ 約1,000人 地震に伴う事故等 約1,000人
倒壊・焼失・流出埋没家屋	約37万棟

<日赤の活動>

救護実数	延206万7,500人
活動職員総数	4,466人

教訓① 家屋倒壊で1万人を超える犠牲者が生じた

家屋倒壊による死者は11,000人にのぼると推定されています。この数は1995年(平成7年)に発生した阪神大震災による死者数のおよそ2倍にあたり、これだけ多くの犠牲が生じた要因は、建物の耐震基準が規定される前であったためと考えられます。

対策：耐震補強、家具の固定・配置の見直し

教訓② 火災で9万人を超える犠牲者が生じた

火災による死者は92,000人にのぼると推定(死者全体の約88%)されています。火災による被害が広がった要因は、発生が正午前であったため、昼食準備のために多くの家庭で火を使っていた時間帯であったことがあげられます。また、各地であがった火の手が強風にあおられ、当時密集していた木造家屋に次々に燃え移り、火災が広がったとされています。

対策：揺れたらすぐに火の始末、初期消火の準備(消火器の設置)、避難時にブレーカーを落とす(電気復旧時の失火を防ぐ)



【北海道南西沖地震】

1993年(平成5年)7月12日 午後10時17分に発生 マグニチュード7.8

日本海側沿岸各地に津波が来襲して家屋に甚大な被害を生じたほか、特に大きな被害が生じた奥尻島では、発生した火災により被害が拡大しました。

<災害被害>

死者・行方不明者	230人 (内訳)津波 202人 建物倒壊・土砂崩れ 28人
損壊・浸水家屋	約7千棟

<日赤の活動>

救護実数	延2,439人
活動職員総数	101人

教訓 津波警報の発令より早く大津波が来襲

大きな人的被害が生じた奥尻島では、高い津波が地震発生から極めて短時間で襲来したことが要因となりました。地震発生から5分後の午後10時22分に「オオツナミ」の津波警報(現在の大津波警報)が発表されましたが、奥尻島ではその前に津波が到達したと推測されます。

対策：地域によっては揺れたらすぐ高台へ避難(垂直避難)、災害時持ち出し品の準備

【胆振東部地震】

2018年(平成30年)9月6日 午前3時7分に発生。マグニチュード6.7

厚真町で震度7、安平町とむかわ町で震度6強を記録するなど強い揺れに見舞われ、各地で発生した土砂災害(がけ崩れや土石流等)により大きな被害が生じました。

<災害被害>

死者・行方不明者	43人
全・半壊、一部損壊家屋	約1万6千棟

<日赤の活動>

救護実数	延1,246人(こころのケア含む)
活動職員総数	491人

教訓 全道各地でブラックアウトが発生

発電設備の停止等により、道内全域に及ぶ大規模停電(ブラックアウト)が発生。最大約295万戸が停電し、ブラックアウトから概ね全域に供給できるまで45時間程度を要しました。

対策：災害時持ち出し品の見直し(携帯用バッテリー、懐中電灯、携帯ラジオ、その他季節によって内容を見直す(冬期は防寒具を用意する等))



※写真は全て日本赤十字社所蔵

すぐできる、住まいの減災対策

災害に備えて、おうちの中の安全対策をマンガで伝えています。



1923年9月1日に発生した関東大震災から今年でちょうど100年が経過しました。この震災により、37万棟にものぼる建物が損壊し、倒壊に巻き込まれるなどして亡くなった方の数は11,000人にものぼります。

様々な災害を経験し、これまで建物の耐震化が進んできましたが、2003年～2016年に発生した震度6以上の地震による被害を調べると、ケガの原因の約3～5割が家具の転倒・落下・移動によるものでした。

おうちの中での備えや安全対策を、チェックしてみましょう。

(日本赤十字社東京都支部広報誌『NT(Nisseki Tokyo)』より転用)

✓ おうちの中のチェックリスト

「はい」がいくつありますか？ あてはまる□にチェックを！



01 住んでいる家は、新耐震基準(昭和56年6月以降)を満たしている。

はい いいえ

02 ガラス製品などの危険物を高いところに置いていない。

03 重たいものは棚の下段に収納して重心を低くしている。

04 高いところに置いたものは落ちてこない工夫をしている。

05 燃えやすいものは、火を使うそばに置かないようにしている。

06 タンスや本棚などは、配置や向き工夫、転倒防止金具などで固定している。

07 テレビや冷蔵庫など大型電気製品にも転倒防止の工夫をしている。



08 食器棚やガラスケースには、飛散防止フィルムを貼っている。

はい いいえ

09 戸棚の開き扉には掛け金をつけて、揺れて開かないようにしている。

10 寝室には、なるべく家具を置かないようにしている。

11 避難通路となる廊下などに物を置いていない。

12 家の中の安全な場所を知っている(押し入れ、トイレ、机の下など)。

13 頭を守るヘルメット、クッションなどが身近にある。

- 0～4個…災害時、自分や家族の身が守れるか心配です！
- 5～8個…まだ準備が不十分です。家族と一緒に考えてみましょう！
- 9～12個…住まいの減災についての対策は、あと一歩です！
- 13個…住まいの減災対策ができています！



採点してみましょう!!

13問のチェックのうち、「はい」がいくつありましたか？

あなたの回答

個

青少年赤十字トレーニング・センター各地で開催

トレーニング・センターは、青少年赤十字の最も特徴のある教育プログラムの一つです。

各地から児童・生徒が参加し、さまざまなプログラムを通じて日頃の身近な生活から「気づき」を鍛え、「いま自分に何ができるか」をより深く考え、さまざまな課題に取り組んでいきます。また、参加者相互の理解と友情を深め、メンバー同士で協力し合うことで成長していき、今後の学校生活でより主体的に取り組む姿勢が養われることが期待されます。

道内では、例年、道央会場、道南会場、道北会場、道東会場の4カ所で開催してきましたが、コロナ禍以降、中止または一部内容を変更(日程短縮等)して開催しております。

<道南会場>

7月27日(木)、函館市において青少年赤十字トレーニング・センター(道南会場)が開催されました。

道南会場のトレーニング・センターは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年度から令和4年度までの3年間は開催中止としておりましたが、今回は感染状況を注視しつつ、感染対策を講じたうえで、宿泊なしの1日開催で実施いたしました。

当日は、各地から計30名の青少年赤十字メンバー及び指導者が集まり、さまざまな体験活動等を通じてリーダーシップを高めるとともに、メンバー間の交流を図りました。



<道東会場>

8月2日(水)～3日(木)、北見市において青少年赤十字トレーニング・センター(道東会場)が開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため1日開催で実施しましたが、本年度は、3年ぶりに宿泊を伴う1泊2日の日程で実施しました。

当日は、道東各地から23名の青少年赤十字メンバーが集まり、各ホームルーム(グループ)に分かれ赤十字の学習やフィールドワークを体験しました。

特にフィールドワークは、設定された5つの関門をホームルームで力をあわせて突破してくもので、校種や年齢が別々のメンバー同士、協力し合いながら関門に取り組み課題や問題を解決していきました。

さまざまなプログラムを通して青少年赤十字の態度目標である「気づき」「考え」「実行する」を体感する2日間となりました。



令和4年度活動資金使途報告

—皆様のご協力に御礼申し上げます—

令和4年度は、皆さまから活動資金として3億8,859万3,660円のご協力をいただきました。

ご協力いただいた活動資金をもとに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じつつ、災害救護活動や救急法等の普及、ボランティア活動の支援など、いのちと健康を守る活動を行うことができました。

令和4年度 活動トピックス

赤十字災害救護訓練の実施 ～3年ぶりの集合開催～

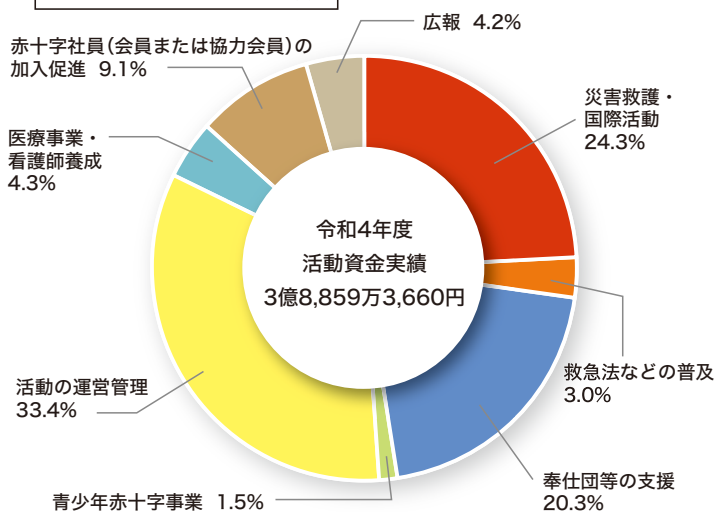
道内10カ所の赤十字病院に配備している「赤十字救護班」を対象に、感染症の発生や多様化する災害救護活動等において、災害への対応能力の向上を図ることを目的とした「赤十字災害救護訓練」を、令和4年10月11日(火)から13日(木)の日程で開催しました。

この訓練は、前2年間は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン開催としていましたが、今回は前後半の2部制で参加救護班を分けるなどの対策を講じ、3年振りとなる集合型での訓練を実施しました。

訓練には、道内10赤十字病院から約60名の救護班(医師・看護師・主事(事務職員又は薬剤師)で構成)が参集し、災害救護に必要な知識と技術について講義を受けた後、新型コロナウイルス感染症の拡大下における避難所設置にあたる図上シミュレーションと避難所設置にかかる実動訓練を実施し、参加者は必要な知識・技術を身に付けるとともに、災害救護活動への士気を高めました。



令和4年度活動資金実績



※赤十字はボランティアが中心となって活動していますが、事業が円滑に進むよう専任の職員がボランティアとの調整や救援物資・資材の調達、訓練や講習会をはじめとする事業の企画・立案・調整・報告などを行っています。運営管理費にはこれら職員の人件費を含め、社屋の維持管理費・諸税などが含まれています。
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

わが町の 赤十字 奉仕団

地域に根ざしたさまざまな活動を行う北海道の赤十字奉仕団。その中からいくつかの奉仕団の取組みを毎号紹介しています。

小清水町赤十字奉仕団

男性団員52名が入団！

昭和38(1963)年に結団した小清水町赤十字奉仕団は、令和5年度に創立60周年を迎え、4月14日には定期総会に先立ち、52名の男性の新団員入団式を行いました。

これほど多くの男性団員の入団には、赤十字病院への感謝、奉仕団における若い世代の必要性や入団後の可能性など、町民のさまざまな想いがきっかけとなっており、現在では総勢135名の大きな団へと発展することができました。



男性団員による初の試み！花植え活動！

6月7日には、これまで取り組みが困難だった力仕事を伴う花植え活動も男性団員からの強い要望から、新たな試みとして取り組むことができました。

小清水赤十字病院への慰問に併せて行った今回の花植え活動により、一つ一つ丁寧に植栽された花々からは、『コロナ禍の収束とともに色鮮やかな花たちによって皆様の心が晴れやかになって頂ければ』という団員たちの想いが込められており、元気な姿を見せてくれました。

5類に変更されたとはいえ未だ油断できない新型コロナウイルス感染症や様々な災害など、我々が生活する上で不安な事はありますが、大人数となった奉仕団で今後もますます、地域が明るくなる活動を続けてまいります。



委員長 松井 洋子

たくさんのご協力ありがとうございました

活動資金にご協力いただき、表彰された方々をご紹介します。(敬称略) 令和5年3月～6月表彰伝達分

金色有功章

函館市 管藤 勇気
岩見沢市 寺江 博
岩見沢市 寺江 信
根室市 高岡 義久
支部 大川原 淳
支部 一般社団法人 共生メタバース協会

銀色有功章

釧路市 沢田建設株式会社
釧路市 藤田印刷株式会社
見沢市 株式会社松井建設
見沢市 高橋 武
千歳市 北興自動車工業株式会社
支店 みどりヶ丘町内会
支店 御幸清澄町内会
支店 今村 勝吉
支店 上田 正幸
支店 倉部 和幸
支店 有限会社光和トラベル
支店 北洋コーキング株式会社
支店 株式会社まるいち

社長感謝状

函館市 一般社団法人 相馬報恩会
美唄市 岡本 哲夫
千歳市 一般社団法人 日本血液製剤機橋千歳工場

赤十字看護専門学校・看護大学 令和6年度入学試験について

赤十字では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、臨床現場だけではなく、災害救護や国際救援等、国内外で活躍できる看護師を養成しており、道内には伊達、浦河に看護専門学校が、北見には看護大学があります。

令和6年度入学試験（一般入試）の日程は以下のとおりです。入試に関する詳細は、各校ホームページ、またはお電話にてご確認ください。

■浦河赤十字看護専門学校一般入試日程

区分	期日	
前期	出願期間	令和5年11月20日(月)～令和6年1月5日(金)
	試験日程	学科：令和6年1月11日(木) 面接：令和6年1月19日(金) 学科合格者のみ
	試験会場	学科：浦河・札幌／面接：浦河
	合格発表	令和6年1月19日(金)
後期	出願期間	令和6年1月22日(月)～2月22日(木)
	試験日程	学科：令和6年3月6日(水) 面接：令和6年3月13日(水) 学科合格者のみ
	試験会場	学科：札幌／面接：浦河
	合格発表	令和6年3月13日(水)
試験科目 (前・後期とも)	必須：国語(漢文除く)、英語、小論文 選択：数学Ⅰ・生物基礎より1科目 ※詳細は学生募集要項を確認	
連絡先 ホームページ	浦河郡浦河町東町ちのみ1-3-39 電話：0146-22-1311 ホームページ：https://urakan.jrc.or.jp	

■日本赤十字北海道看護大学一般型選抜日程

区分	期日
出願期間	令和6年1月5日(金)～1月19日(金)
試験日程	令和6年2月3日(土)
試験科目	必須：英語、小論文総合問題 選択：数学・理科(2教科3科目から1科目選択) ※詳細は学生募集要項を確認
試験会場	北見、釧路、旭川、札幌、東京
合格発表	令和6年2月14日(水)
連絡先 ホームページ	北見市曙町 664 番地1 電話：0157-66-3311 ホームページ：https://rchokkaido-cn.ac.jp

- ・看護大学には大学入学共通テスト利用選抜方式もあります。
- ・各校とも、各種推薦入試、社会人対象入試が用意されています。
- ※伊達赤十字看護専門学校は、令和3年度入試をもって学生の募集を停止しています。



「救いたい」という思いを次世代へ

～遺贈・相続財産からのご寄付について～

日本赤十字社北海道支部は、明治20年(1887年)に北海道委員部として誕生して以来、災害救護をはじめ、お住まいの地域の防災・減災の推進、医療・福祉などの活動を130年以上にわたり続けてまいりました。これからも苦しんでいる人々を救う活動を続けるために、遺贈・相続財産からのご寄付という形で皆様の思いを私たちに託してください。

お問い合わせ

遺贈・相続財産寄付担当 TEL.011-231-7126
(平日9:00～17:30)

パンフレットをご用意しておりますので郵送を希望される方は担当までご連絡ください。支部ホームページからダウンロードも可能です。



発行元



札幌市中央区北1条西5丁目 TEL:011-231-7126

発行日 令和5年10月27日

公式facebook・Instagramで情報発信中!



日赤北海道



https://www.jrc.or.jp/chapter/hokkaido/



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。